

知^っ得^い情報

健康保険証、 マイナ保険証って どうなるの？

令和6年12月2日以降、新規に健康保険証は発行されなくなり、マイナ保険証（保険証利用登録がされたマイナンバーカード）を基本とする仕組みに移行しました。

国民健康保険にご加入か、後期高齢者医療制度をご利用中の方はお手元の保険証の有効期限をご確認ください。令和7年7月31日以降は順次期限満了となります。ただし、有効期限が切れた保険証でも、令和8年3月末までは保険診療が受けられます。（厚生労働省7月発表）

●川口市では●

マイナ保険証をお持ちのかたには、資格情報のお知らせが普通郵便で送付されます。マイナ保険証をお持ちでないかたには、資格確認書が特定記録郵便で送付されます。資格情報のお知らせまたは資格確認書が、6月下旬から7月上旬にかけて郵送されています。世帯内で資格情報のお知らせと資格確認書が混合する場合は別々の封筒で届きます。

【マイナ保険証をお持ちの方は】

そのままマイナ保険証をお使いください。保険資格を簡易に把握できるように資格情報のお知らせが送付されます。（申請不要）マイナ保険証の読み取りができない場合には、資格情報のお知らせをマイナ保険証とともに提示することで医療機関等を受診することができます。資格情報のお知らせのみでは受診することができませんのでご注意ください。（69歳までのかたの資格情報のお知らせは記載内容に変更がない限り一回のみの発行となりますため、資格情報のお知らせは大切に保管してください。）

※マイナ保険証を保有している方であっても、マイナンバーカードでの受診等が困難な要配慮者（高齢者、障害者等）は申請が必要となりますが資格確認書が無償で交付されます。これらの方については、資格確認書更新時の申請は不要です。

【マイナ保険証をお持ちでない方は】

資格確認を提示することで医療機関等を受診することができます。



マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178
＜受付時間＞年末年始を除く 平日 9:30～20:00
土日祝日 9:30～17:30

2025年原水爆禁止国民平和大行進 川口・鳩ヶ谷 核兵器禁止条約を批准する政府に！

7月2日、毎年開催されている原水爆禁止国民平和大行進が川口市内で開催され、川口駅から川口市役所へ、鳩ヶ谷地域では鳩ヶ谷駅東口でスタンディングがおこなわれました。

川口駅での出発集会では参加団体の代表がそれぞれ紹介され、みんなで合唱もしました。市役所到着後、しらさぎ会の木内副会長、高橋副会長と橋内平和行進実行委員長が川口市総務課長から市長、議長、教育長の名前入りの平和のペナントを受け取りました。その後、川口と鳩ヶ谷の両原水協が毎年合同で行っている川口市への平和にかかわる要望書への回答を受け取りました。

その中で7月21日（月）14時から川口市立中央図書館・メディアセブンでおこなわれる川口市平和展の特別企画 ①被爆体験の講話 ②しらさぎ会高橋副会長と奥ノ木信夫市長の対談についても話題となり、大いに宣伝していくことにしました。

同日、鳩ヶ谷地域では鳩ヶ谷駅でのスタンディングがおこなわれ、終了後、次の行進地の草加へ無事に車両を引き渡しました。



▲川口では被爆者のお二人もあいさつ



▲鳩ヶ谷駅でのスタンディング



金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2025年7月13日 No.1797
日本共産党川口市議会議員団
川口市前川 2-28-10
TEL.267-8411 FAX.261-3528
<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

公共施設の統廃合に反対！公の責任を守り、活かす川口市政へ

施設の老朽化を理由に公設公営保育所「青木北保育所」を 令和8年4月1日で廃止！

—保育環境と保育の質を高める公設公営保育所の拡充こそ

青木北保育所は昭和37年4月1日に設置し63年間、保育を継続

青木北保育所は、1歳から5歳までが対象の定員60人の保育施設です。敷地面積1235㎡、延床面積390㎡、木造平屋で園庭300㎡の保育所です。公設公営保育所として市職員による保育が行われてきました。施設の老朽化を理由に、青木北保育所の廃止を川口市が決め6月市議会で可決されました。

保育所の統合・廃止は令和6年度の検討結果を踏まえたもので、令和7年度は5歳児のみの入所対応がされ、現在、青木北保育所には、2歳から5歳までの38人の幼児が通っています。



青木保育所は、昭和47年6月1日に設置し53年間の保育を継続

青木保育所は、1歳から5歳までを対象に定員80人の保育施設です。敷地面積940㎡、延床面積400㎡、鉄骨造平屋で園庭300㎡の保育所です。公設公営保育所として市職員による保育が平成17年度まで行われ、翌年の平成18年4月1日から公設民営保育所となり株式会社日本保育サービスが保育を実施しています。

指定管理者の指定期間が5年となっており、今年度は最終年度になりますが保育の継続の申し出がなく、平成8年4月1日からは公設公営保育所に戻して、市職員による保育が実施されます。現在、青木保育所には、1歳から5歳までの64人の幼児が通っています。

青木北保育所と青木保育所の統廃合や民間委託は問題です

川口市は令和6年度に両保育所の保護者に対し説明会を実施しました。青木北保育所では通園距離が変わることになるなどの声もあり、地域住民の期待に応えたものとは言えません。

青木保育所では運営主体が変わることへの不安の声が上がっています。党市議団は、保育は子どもや保護者と保育士との信頼関係が何よりも大事なことから、指定管理者制度の導入は保育の継続性や安定性が損われることから反対してきました。

現在、保育士不足などが深刻になる中で、保育の公的責任がますます高まっています。民間を含め、本市の保育環境と保育の質を高めるためには、公設公営保育所の拡充こそ必要です。

蕨駅、西川口駅、鳩ヶ谷駅連絡室を7月末で廃止！

—市民の利便性を損なうことから日本共産党市議団は反対しました

川口市は、利用者数の減少に伴い駅連絡室を廃止し、今後はマイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスや本庁舎、支所、駅前行政センターなどの窓口利用を「広報かわぐち」で促しています。各駅の利用者は多く周辺地域のみなさんの利便性を損なう蕨駅、西川口駅、鳩ヶ谷駅連絡室の廃止に日本共産党市議団は反対しました。

各駅連絡室の利用状況（開所時期）

件

	R4年	R5年	R6年
蕨駅 (H14年8月1日)	20,951	15,637	14,323
西川口駅 (S48年5月10日)	20,451	19,375	16,862
鳩ヶ谷駅 (H13年4月1日)	10,964	9,911	10,809